

シーガル（輸出：Put + Short Call + Short Putなど派生）

概要

シーガル戦略（Seagull）は、ゼロコスト・コリドーにさらに追加のオプションを組み合わせ、損益プロファイルを調整する複合戦略です。典型的には、ロングプットにショートコールを組み合わせた後、追加でOTMのショートプットを入れることで、下落側のコストをさらに抑えつつ、上昇側も制限します。

仕組み

1. USDロング（現物受取）
2. Putを購入（下落防御）
3. Callを売却（上昇に上限設定、Put費用を相殺）
4. さらにOTM Putを売却（コストを追加で抑えるが、急落時リスク増加）

この戦略を使用する場面

- ・ゼロコスト戦略をさらに改善し、場合によってはプレミアムを受け取る形にしたいとき
- ・為替相場が大幅下落する可能性は低いと見込んでいるとき
- ・一定の下限を確保しつつ、費用削減や収益化を優先したいとき

メリット

- ・下落リスクを一定水準まで限定できる
- ・追加のショートポジションにより、ゼロコストを超えて「プレミアム収入」になる場合もある
- ・相場見通しに合わせた柔軟な設計が可能

デメリット / 留意点

- ・追加のショートプットにより、大幅下落時の損失が拡大する可能性
- ・利益の上限も設定されるため、相場急騰時の機会損失が発生
- ・複雑な設計のため、リスク管理と理解が必要

損益イメージ

- ・一定範囲内では下落を防御し、コストを抑えて安定した損益を確保
- ・大幅下落時には追加ショートプットにより再び損失が拡大
- ・上昇時にはショートコールにより利益が制限される
- ・ネットでは「コストゼロ」だけでなく「プレミアム受取」となる場合もある

まとめ

シーガル戦略は、輸出企業が「低コストあるいはプレミアム収入を得ながらヘッジを確保」できる手法。ただし急落局面では損失が再び拡大するため、相場見通しとリスク管理が不可欠です。